

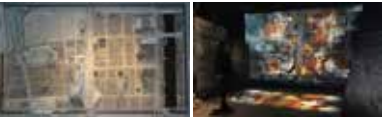
展示品紹介

「戒橋筋界隈の焼け跡ジオラマとプロジェクションマッピング」

1階Dゾーンの展示室に入ると、奥の壁面に巨大ジオラマを見ることが出来ます。これは、昭和20年3月13日深夜から翌14日未明の第一次大阪大空襲後の大阪ミナミ・戒橋筋界隈の焼け跡のようすを再現したものです。上端を左右に通る道路は、当時から大阪のメインストリートだった御堂筋です。右側は、東西に流れる道頓堀川です。高島屋、歌舞伎座などいくつかの建物が残っていますが、焼け野原の状態です。

このジオラマと手前の床をスクリーンにして、大空襲の様子を上空から再現したプロジェクションマッピング(約5分)が映し出されます。

(20分間隔で上映)



平和寄金へ ご寄附のお願い

特別展や企画事業などは、寄附金(平和寄金)をもとに実施しています。戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へしっかり引き継いでいくため、平和寄金にご寄附をお願いいたします。

※寄附金は「寄附金控除」の対象になり、税の優遇措置が受けられます。

銀行振込※	寄附申込書を振込手続きの前に当財団事務局へ郵送又はファックスをしてください
送金	当財団事務局へ送金いただく際、寄附申込書を同封してください
持参	寄附申込書を当財団事務局へご持参ください (なお、持参日を事前にお知らせください)

※銀行への振込口座につきましては、「ピースおおさか」までお問い合わせください。
※寄附申込書は当館又はHPからダウンロードして取得できます。

<平和寄金へご寄附いただいた皆様>

守分志津江、岡野眞、出原逸子、横倉和、島津達雄、北村嘉子、大田高輝、中井政嗣(匿名ご希望の方を除く)

(平成30年8月～令和元年9月の間に1万円以上ご寄附の方。敬称省略)
ご寄附いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

会員特典	◇1年間無料で入館でき、常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。 講演会・特別展示等の催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。
会費	◇個人会員 年額2千円 ◇団体会員 年額1万円(1口) ※何口でも結構です。
申込方法	◇直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ◇銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行) ◇郵便局振込

いのちへのメッセージ

～ピースおおさかの展示を見た感想や平和に対しての思いなど～

- 色々な展示を見て心が痛み、それと同時に今が本当に平和なのだと感じる。今の何でもない日常が、平和が続きますように。
- 年月が経つにつれて、忘れたり、薄れていってはいけない事を再確認できました。
- みんながいつまでも笑顔で絆をもち、たすけ合える世界になるう。
- 明日があるのは今を『生きている』から。“命”を大切に全人類がすればやがて世界平和につながる。これからの“生命”“命”を大切にしよう。
- 平和に楽しく！命を大切に！
- 戦争は人の心、命までもうばう恐ろしく残酷なことだと改めて痛感しました。そして戦争が風化しないためにも私たちが語り継がなければならないです。戦争が二度と起きないために。
- 命は限りがある。人はいつか死んでしまいが、毎日を大切に生きていけば悲しむことはないと思う。
- 平和というものを改めて実感できました。今後、戦争のない日本を私達がつくりあげていきます。
- 未来へ届け「平和」。
- 失った人は二度と戻らない。ありふれた言葉だけど、周りの人を大切に毎日を生きたい。
- 私たちが戦争をなくすために出来ることは、自分の命、人の命を大切にし、今この生活に感謝して生きていけば良いのではないのでしょうか。
- We hope for world peace please! (原文)
- War is a terrible thing and should never happen anywhere. I pray for peace everywhere and for everyone to live happily. (原文)

寄贈品紹介

「金属片が刺さった書籍」



寄贈者の父親のもので、昭和20年、兵庫県西宮市の自宅の書斎に置かれていました。川西池田の空襲の際、爆風により自宅の窓ガラスは割れ、爆弾の破片が書籍に突き刺さったものだということです。

資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料の収集、保存、展示等を行っています。後世に伝えていくために、資料収集へのご協力よろしくお願いたします。

資料によってはお受けできない場合もありますので、まずはお電話でお問い合わせください。

トピックス

●相愛中学校・相愛高等学校との協定書調印式

平成30年7月24日(火)、相愛中学校・相愛高等学校との間において、包括連携のもと、相互に協力し、平和に関する企画事業及び教育活動を実施することを目的として、連携協定を締結するに至り、調印式を行いました。平成26年からは毎年、終戦の

日の平和コンサートで音楽科のみなさんにご協力をいただいています。

当日、安居健治校長からは、平和教育の推進に向けた抱負を語っていただきました。



●当財団職員が第1回ヤン・コヴァレフスキ中佐記念賞の外国人部門を受賞！

当財団の専門職員 駒井詩子が、ポーランドの第二次世界大戦博物館・グダンスク工科大学共催(ポーランドの文化・国家遺産省、外務省、科学・高等教育省後援)の第1回ヤン・コヴァレフスキ中佐記念賞の外国人部門を受賞しました。駒井専門職員は、特別展「カティンの森事件ー22,000人のポーランド人将校の行方ー」を企画し、日本におけるポーランド史の広報活動に対して成果を挙げた外国人として評価されました。授賞式は令和元年9月28日にポーランド・グダンスク市の第二次世界大戦博物館で行われました。

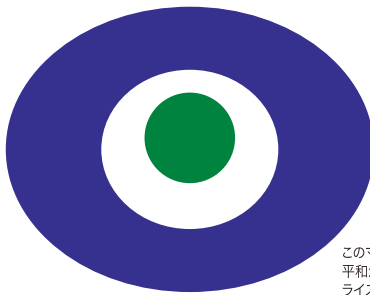
※ヤン・コヴァレフスキ中佐記念賞：ヤン・コヴァレフスキはポーランド軍歩兵中佐、言語学者、暗号学者であるとともに、国に尽くしたポーランドの偉大な英雄であるといわれています。この賞は、彼の名前に冠して、顕著かつ革新的な業績を挙げたポーランド人および外国人に授与されます。

ピースおおさか
ご利用あんない

- 団体見学の見学申込受付
- 戦争と平和に関する展示・映画上映
- 戦争体験の語り部さんのご紹介
- DVDやパネル等の団体向け資料貸出

<問い合わせ先>

ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080



このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

ピースおおさか
OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2019
(令和元) 11/10
No.47

編集・発行/公益財団法人 大阪国際平和センター
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080
ホームページ <http://www.peace-osaka.or.jp>



2019年は日本とポーランド国交樹立100周年です。そして、9月は第二次世界大戦勃発から80年でもあります。ピースおおさかでは、駐日ポーランド共和国大使館およびポーランド広報文化センターより承認を受け、それらに関連した事業を行いました。



大阪大空襲 平和祈念事業 日本・ポーランド国交樹立100周年(1919～2019年)記念事業

日本とポーランド
実は近い国(親(ちか)い国)?!

2019(平成31)年3月10日(日)午後2時～3時45分

参加者:298名

ヨーロッパの中心に位置するポーランド。日本とは物理的に離れた距離にありますが、1919年に国交樹立後、第二次世界大戦中も含め、その関係性は続いてきました。2019年は両国の国交を樹立してから100年目の年です。日本とポーランドの友好関係はどのように始まったのでしょうか。本事業では、ポーランド広報文化センター副所長のユスティナ・ログスカさんによるポーランドの紹介、そしてノンフィクション作家の河添恵子さんに日本とポーランドの友好関係についてお話いただきました。



特別展 ポーランド・グダンスク市 第二次世界大戦博物館展

POLAND FIRST TO FIGHT
第二次世界大戦勃発の地・ポーランドの戦い

期間:2019(令和元)年9月1日(日)～12月22日(日)
現在開催中

第二次世界大戦勃発から80年の2019年9月、グダンスク市にある第二次世界大戦博物館が世界数十か所で行うパネル展の日本の開催地がピースおおさかです。第二次世界大戦博物館、ポーランド広報文化センター、駐日ポーランド共和国大使館との共催で実施しています。第二次世界大戦はドイツがポーランドに侵攻したことにより始まり、東部からソ連も攻め入ったため、ポーランドは戦場と化しました。第二次世界大戦におけるポーランドの悲劇、占領に立ち向かう国民などについて紹介しています。



ピースおおさか 2018(平成30)年8月から2019(令和元)年9月までの主な事業

開館の日 平和祈念事業

学童疎開の記憶よ、時代とともにサヨナラか

2018(平成30)年9月16日(日)午後1時30分～4時

参加者:129名



本事業は「国民学校と学童疎開を考える会」の協力によって開催しました。

第1部は、映画「みんなわが子」の上映を行いました。学童疎開に行った子どもたちがどのような生活をしたのかを現存する資料をもとに描いた作品です。

第2部は、学童疎開の経験者などによるシンポジウムを行いました。パネラーそれぞれの学童疎開の記憶やその思いなどについてお話をいただきました

戦後70年以上が過ぎ、戦争の記憶、学童疎開の記憶は時代の流れとともに風化しつつあります。これらの記憶を残していくことが今の大きな課題であるとパネラーみなさんで再認識しました。

終戦の日 平和祈念事業 戦争体験講話

“いま”伝えたい～95歳、絵筆で戦争と平和を語り継ぐ～

2019(令和元)年8月4日(日)午後2時～3時30分

参加者:76名

語り手に第二次大阪大空襲を体験された東村禎三さん、聞き手に大阪電気通信大学名誉教授の小田康徳先生をお招きし、東村さんの戦争体験についてお話をいただきました。東村さんは、1924(大正13)年生まれの95歳、此花区の工場での勤務中、昭和20年6月1日の第二次大空襲に遭われました。東村さんは、戦争と平和に関する絵画を数多く制作されています。本イベントで絵画をいくつか紹介し、そこから空襲の凄まじさそして平和の尊さについてお話いただきました。



特別展 未来に託す戦世(いくさゆ)の記憶

2019(平成31)年1月17日(木)～2月14日(木)

参加者:5,340名



沖縄県平和祈念資料館主催、ピースおおさか共催による特別展「未来に託す戦世(いくさゆ)の記憶」を開催しました。琉球王国として栄えていた沖縄は、明治時代に入ると日本の一つの県となり、やがて戦争へ巻き込まれていきました。この展示では、沖縄戦に至った経過と当時の世界情勢をふりかえるとともに、沖縄戦を体験した人々の証言映像を視聴することができました。沖縄戦については、住民側の資料があまり残っておらず、貴重な資料の数々からは、当時の悲惨な状況が伝わってきました。

DVD・ビデオ・写真パネルの貸出

地域や学校での平和学習にDVD・ビデオ、写真パネルをご利用ください。無料で8日間利用できます。

終戦の日 平和祈念事業

(1)「落語と歌で伝えたい平和の想い」

日時:2018(平成30)年8月10日(金)午後1時30分～4時
内容:高橋樺子さんによるコンサートおよび桂春蝶さんによる落語
参加者:241名

(2)「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」(協力:学校法人相愛学園)

日時:2018(平成30)年8月15日(水)午後2時～3時30分
内容:平和コンサート(相愛中学校・高等学校音楽科生徒による合唱、相愛大学音楽学部卒業生による弦楽四重奏)
菊一輪献花、昇鶴祭
参加者:228名

開館の日 平和祈念事業

「第二次世界大戦博物館展特別講演会「第二次世界大戦とポーランド」

日時:2019(令和元)年9月15日(日)午後2時～3時30分
内容:北海道大学・早稲田大学名誉教授・伊東孝之さんによる講演
参加者:244名



開戦の日 平和祈念事業

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

日時:2018(平成30)年12月2日(日)午後2時～3時45分
出演者:桂春團治、桂文三、桂春之輔、桂紋四郎
参加者:231名

幻の卒業式

日時:2019(令和元)年5月10日(金)
卒業証書受領者1名

その他の事業

(1)「教員のための平和学習」

日時:2018(平成30)年7月27日(金)、8月3日(金)
内容:館内見学、平和紙芝居、フィールドワーク(大阪城周辺の戦跡)
参加者:25名

(2)「ピースおおさか絵画教室」(大阪府、大阪市教育委員会、株式会社サクラクレパス協力事業)

日時:2018(平成30)年8月18日(土)、21日(火)
参加者:78名

(3)「特別事業 歌でたどる平和のみち」

日時:2019(平成31)年2月10日(日)午後2時～3時30分
出演者:BORO(ミュージシャン)
参加者:217名

(4)「北朝鮮人権侵害問題啓発」
(政府拉致問題対策本部、大阪府、大阪市、府内全市町村主催、ピースおおさか協力)

日時:2018(平成30)年12月16日(土)
内容:パネル展示、映画上映等、政府の取り組み報告、映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」
参加者:153名



特別展

(1)「ピースおおさか収蔵品展 2018」

期間:2018(平成30)年5月2日(水)～7月1日(日)
参加者:13,539名

(2)「ミニミニ原爆展」

期間:2018(平成30)年7月17日(水)～9月16日(日)
参加者:9,823名

(3)「慰問からみる戦争」

期間:2018(平成30)年10月16日(火)～12月27日(木)
参加者:26,165名

(4)「カティンの森事件ー22,000人のポーランド人将校の行方ー」

期間:2019(平成31)年3月1日(金)～5月12日(日)
参加者:9,651名

(5)「ピースおおさか収蔵品展 2019」

期間:2019(令和元)年6月1日(土)～7月28日(日)
参加者:13,248名



出前展示

(1)大阪府・市立図書館

大阪府立中央図書館、市立中央図書館をはじめ、市内各図書館など

(2)イオンモール

①場所:イオンモール鶴見緑地
期間:2018(平成30)年10月9日(火)～16日(火)
②場所:イオンモール大正ドームシティ
期間:2019(令和元)年6月1日(土)～9日(日)

その他、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪、府政学習会、平和紙芝居、戦跡ウォーク、ウィークエンド・シネマ、親子まつり等も実施しました。

ピースおおさかのいろんな形の屋根

平和とは、多様なものが相互に認めあって同時に存在し得る世界であることを表現しています。